

1. 情報処理センターにおける委員会活動

愛知大学情報処理センターに情報処理センター委員会があり、そのもとに名古屋センター委員会および豊橋センター委員会が置かれ、3校舎（名古屋，豊橋，車道）の管理，運営が行われている。

2002年度前期に開催された、各委員会の議事は次の通りである。

情報処理センター委員会(合同)

◇第1回 6月20日

1. 車道校舎再開発について
2. その他
報告事項
1. 教育学術コンテンツ募集結果について
2. その他

◇第2回 9月10日

1. 車道校舎再開発基本設計書に関する要望に対する回答について
2. メールサーバなどの外部委託について
3. 所長、副所長人事について
4. その他
報告事項
1. COM募集要項変更について
2. その他

◇第3回 9月21日

1. ウイルス検知・対策ソフトの導入について
2. メールサーバのアウトソーシングについて
3. COM表紙(案)について
4. 所長・副所長人事について
5. その他
報告事項
1. 「車道校舎再開発基本設計書に関する要望書」に対するご回答への再要望書の提出について
2. その他

名古屋センター委員会

◇第1回 6月5日

1. ウイルス対策について
2. ソフトウェア申請について
3. 貸出用ノートパソコン仕様書について
4. 教育学術補助制度について
5. 教員用講習会について（フリーディス

カション)

6. ユーザ会議について
7. ネットワーク社会論科目担当からの申し入れについて
8. 遠隔授業の導入について
9. その他
報告事項
1. 遠隔講義システムの設置について
2. その他

◇第2回 7月5日

1. 教員用講習会について
2. メディアゾーンパソコン仕様書について
3. その他
報告事項
1. ユーザ会議について
2. その他

◇第3回 9月10日

1. メディアゾーンパソコンについて
2. 教員用講習会について

豊橋センター委員会

◇第1回 5月2日

1. 5号館撤去パソコンの扱いについて
2. その他

◇第2回 5月30日

1. ウイルス対策について
2. 教育学術補助制度について
3. 教員講習会について
4. e-learning について
5. ユーザ会議について
6. その他
報告事項
1. 523 教室撤去PCについて
2. 2号館教材提示装置システムの仕様書について

3. 遠隔講義システムの設置について
4. その他

◇第3回 7月18日

1. 教員講習会(秋学期開催分)について
2. その他

2. 情報処理センター主催行事

講習会

◆名古屋校舎

開講日	講習会名	教室	参加人数
4月11日(木)	電子メール講習会	第2実習室	14人
4月15日(月)	電子メール講習会	第2実習室	10人
4月17日(水)	電子メール講習会	第2実習室	4人
4月18日(木)	レジユメの書き方(Word入門)	第2実習室	7人
4月22日(月)	電子メール講習会	第2実習室	11人
4月24日(水)	電子メール講習会	第2実習室	8人
4月25日(木)	電子メール講習会	第2実習室	12人
	表計算実習(Excel入門)		13人
	センター利用ガイダンス		1人
5月8日(水)	電子メール講習会	第2実習室	15人
5月9日(木)	電子メール講習会	第2実習室	10人
	卒論の書き方(Word応用)		中止
5月13日(月)	電子メール講習会	第2実習室	15人
5月15日(水)	電子メール講習会	第2実習室	14人
5月16日(木)	レジユメの書き方(Word入門)	第2実習室	7人
	電子メール講習会①		14人
	電子メール講習会②		14人
5月20日(月)	表計算実習(Excel入門)	第2実習室	11人
5月22日(水)	電子メール講習会	第2実習室	12人
5月23日(木)	電子メール講習会	第2実習室	7人
5月27日(月)	電子メール講習会	第2実習室	13人
5月29日(水)	電子メール講習会	第2実習室	10人
5月30日(木)	電子メール講習会	第2実習室	15人
	卒論の書き方(Word応用)		4人
6月3日(月)	電子メール講習会	第2実習室	14人
6月5日(水)	表計算実習(Excel入門)	第2実習室	4人
6月6日(木)	レジユメの書き方(Word入門)	第2実習室	5人
	電子メール講習会		14人
6月10日(月)	表計算実習(Excel入門)	第2実習室	10人
6月12日(水)	電子メール講習会	第2実習室	13人
6月13日(木)	表計算実習(Excel入門)	第2実習室	8人
6月17日(月)	表計算実習(Excel入門)	第2実習室	中止
6月19日(水)	電子メール講習会	第2実習室	14人
6月20日(木)	電子メール講習会①	第2実習室	14人
	電子メール講習会②		13人
	電子メール講習会③		13人
6月24日(月)	電子メール講習会	第2実習室	13人
6月26日(水)	表計算実習(Excel入門)	第2実習室	13人
6月27日(木)	レジユメの書き方(Word入門)	第2実習室	9人
	卒論の書き方(Word応用)		3人

開講日	講習会名	教室	参加人数
7月1日(月)	表計算実習(Excel入門)	第2実習室	4人
7月3日(水)	電子メール講習会	第2実習室	13人
7月4日(木)	電子メール講習会①	第2実習室	13人
	表計算実習(Excel入門)		11人
	電子メール講習会②		14人
7月8日(月)	電子メール講習会	第2実習室	13人
7月11日(木)	電子メール講習会	第2実習室	15人
	レジュメの書き方(Word入門)		2人
7月15日(月)	卒論の書き方(Word応用)	第2実習室	2人
7月17日(水)	電子メール講習会	第2実習室	13人
7月22日(月)	表計算実習(Excel入門)	第2実習室	2人
7月24日(水)	電子メール講習会	第2実習室	7人
7月29日(月)	電子メール講習会	第2実習室	3人
7月31日(水)	表計算実習(Excel入門)	第2実習室	7人
8月5日(月)	表計算実習(Excel入門)	第2実習室	5人
8月8日(木)	電子メール講習会	第2実習室	12人

◆豊橋校舎

開講日	講習会名	教室	参加人数
10月3日(木)	電子メール入門	413	3
10月4日(金)	Word	413	1
10月10日(木)	Excel	413	2
10月11日(金)	電子メール入門	413	2
10月17日(木)	Word	413	2
10月18日(金)	Excel	413	3
10月24日(木)	電子メール入門	413	1
10月25日(金)	Word	413	中止
10月31日(木)	Excel	523	2
11月7日(木)	Word	413	中止
11月8日(金)	Excel	413	4
11月14日(木)	電子メール入門	413	中止
11月21日(木)	PowerPoint	423	5
11月22日(金)	Word	413	4
11月28日(木)	Excel	413	1
11月29日(金)	電子メール入門	413	5
12月5日(木)	Word	413	1
12月6日(金)	電子メール入門	421	2
12月12日(木)	Excel	413	2
12月13日(金)	PowerPoint	413	8

3.情報処理センター活動報告

1)名古屋情報処理センター

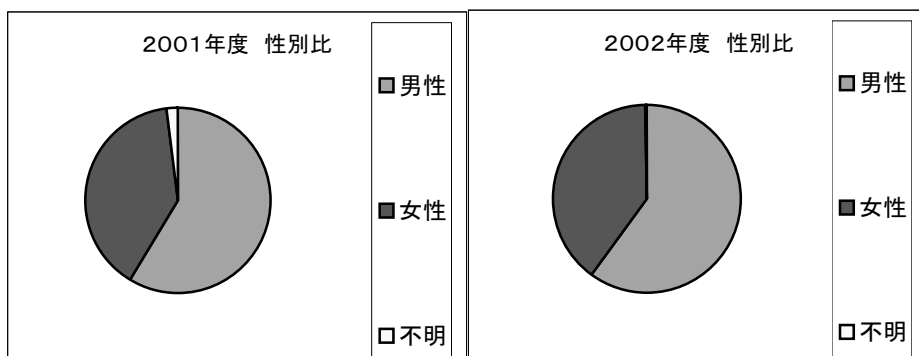
パソコン・ワープロに関するアンケート集計結果(2001年度、2002年度)

集計 情報処理センター事務課
石原 有希子

学生相談員 経営学部 4年
榊原 孝

2001年度	2002年度
有効回答者数	有効回答者数
1,025	769

2001年度			2002年度		
男性	女性	不明	男性	女性	不明
602	402	21	461	306	2



年齢	2001年度		2002年度	
18	890	86.8%	701	91.2%
19	66	6.4%	43	5.6%
20	23	2.2%	14	1.8%
21	8	0.8%	3	0.4%
22	4	0.4%	1	0.1%
23	1	0.1%	0	0.0%
24	5	0.5%	0	0.0%
25	4	0.4%	1	0.1%
26	1	0.1%	1	0.1%
27	0	0.0%	1	0.1%
28	1	0.1%	1	0.1%
29	1	0.1%	0	0.0%
31	1	0.1%	0	0.0%
53	0	0.0%	1	0.1%
不明	20	2.0%	2	0.3%

Q1、大学までの片道時間(徒歩や電車などすべてを合計した時間)は、およそどのくらいですか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
15分以内	72	7.0%	67	8.7%
～30分以内	126	12.3%	118	15.3%
～1時間以内	205	20.0%	144	18.7%
～2時間以内	543	53.0%	406	52.8%
～3時間以内	61	6.0%	34	4.4%
不明	18	1.8%	0	0.0%

Q2、あなたは、高校時代にどのような学科に所属していましたか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
普通科	922	90.0%	708	92.1%
工業系の学科	7	0.7%	6	0.8%
商業系の学科	50	4.9%	43	5.6%
その他	26	2.5%	12	1.6%
不明	20	2.0%	0	0.0%

Q3、あなたの実家に、パソコン(ファミコンのようなゲームは除く)がありますか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
ない	228	22.2%	96	12.5%
ある>SQ1を回答	773	75.4%	664	86.3%
不明	24	2.3%	9	1.2%

SQ1、それは主にどなたが使っていましたか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
あなた以外の家族	242	23.6%	211	27.4%
家族が共同で使っていた	364	35.5%	325	42.3%
あなた自身	186	18.1%	136	17.7%

Q4、それでは、あなたの実家にワープロ専用機はありますか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
ない	475	46.3%	416	54.1%
ある>SQ1を回答	511	49.9%	336	43.7%
不明	39	3.8%	17	2.2%

SQ1、それは主にどなたが使っていましたか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
あなた以外の家族	242	23.6%	211	27.4%
家族が共同で使っていた	364	35.5%	325	42.3%
あなた自身	186	18.1%	136	17.7%

Q5、あなたは以下のような情報関係の言葉を知っていますか。

2001年度

回答	マルチメディア	グループウェア	インターネット	WINDOWS-NT
聞いたこともない	37	797	6	399
聞いたことがある	689	174	153	449
知っている	231	28	593	120
よく知っている	43	5	251	33
不明	25	21	22	24

回答	MS-WINDOWS	フロッピーディスク	WWW	ネットワーク
聞いたこともない	516	29	246	31
聞いたことがある	366	138	411	543
知っている	77	503	252	321
よく知っている	42	331	92	105
不明	24	24	24	25

回答	DOS/V	電子メール	マウス
聞いたこともない	651	16	23
聞いたことがある	235	271	89
知っている	82	478	424
よく知っている	33	235	467
不明	24	25	22

Q5、あなたは以下のような情報関係の言葉を知っていますか。

2002年度

回答	マルチメディア	グループウェア	インターネット	WINDOWS-NT
聞いたこともない	31	578	4	352
聞いたことがある	555	158	88	325
知っている	143	22	443	61
よく知っている	36	8	231	28
不明	4	3	3	3

回答	MS-WINDOWS	フロッピーディスク	WWW	ネットワーク
聞いたこともない	439	18	206	27
聞いたことがある	244	116	279	407
知っている	48	358	200	253
よく知っている	32	272	80	78
不明	6	5	4	4

回答	DOS/V	電子メール	マウス
聞いたこともない	522	13	10
聞いたことがある	185	177	56
知っている	40	359	284
よく知っている	17	213	414
不明	5	7	5

Q6、ところで、コンピュータに関する本や雑誌を読んだことがありますか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
購入したことは一度もない	760	74.1%	581	75.6%
何冊か購入した	223	21.8%	173	22.5%
雑誌を定期的に購入している	19	1.9%	13	1.7%
不明	23	2.2%	2	0.3%

Q7、あなたは、高校時代にコンピュータやパソコンに関する授業を受けたことがありますか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
そのような授業を受けたことがない	621	60.6%	495	64.4%
ある程度、論理的な話だけ聞いた	51	5.0%	33	4.3%
機会を見学し説明するところまで授業でやった	37	3.6%	45	5.9%
実際に操作するところまで授業でやった	295	28.8%	193	25.1%
不明	21	2.0%	3	0.4%

Q8、愛知大学には、情報処理センターがあり、数十台のパソコンを設置してあります。あなたは、このことを知っていましたか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
知らなかった	368	35.9%	301	39.1%
知っている	381	37.2%	293	38.1%
入る前から知っていた	255	24.9%	173	22.5%
不明	21	2.0%	2	0.3%

Q9、それではあなたのパソコン経験度は次のうちどれにあたりますか。

回答	2001年度	2002年度
	計	計
まったくわからない。パソコン機を直接見たこともない	24	9
パソコン機やそれを操作しているところを見たことはあるが自分で触れたことは一度もない	49	36
店頭などで触れたことはあるが、まったく操作したことはない	87	32
操作したことがあるー→SQ1、SQ2を回答	823	665
不明	42	27

SQ1、それでは、あなたのパソコン経験は次のうちどれに当てはまりますか。

回答	2001年度	2002年度
	計	計
他人に教わりながら、キーボードを打った	767	603
ゲームをやった	757	624
日本語ワープロとして、手紙や文書を書いた	546	433
市販のソフトで実務的な作業(経理事務や統計処理)をした	129	117
簡単なプログラムを書いた	164	122
操作やプログラミングを他人に教えた	66	63

SQ2、主にどこのパソコンを利用したのですか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
友人のパソコン	36	3.5%	22	2.9%
アルバイト先のパソコン	4	0.4%	5	0.7%
職場のパソコン(有職者のみ)	6	0.6%	3	0.4%
家族のパソコン	465	45.4%	434	56.4%
自分のパソコン	152	14.8%	118	15.3%
その他	188	18.3%	115	15.0%

Q10、大学での情報処理の授業に対して、あなたは、どのような態度をとろうと考えていますか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
あまり関心がないので、学習しようとは思っていない	58		45	
できるだけ選択してみたい――>SQ1、SQ2を回答	574		518	
積極的に学習しようと思っている――>SQ1、SQ2を回答	358		193	
不明	35		13	

SQ1、それは主にどんな理由からでしょうか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
就職に役立つと思うから	511	54.8%	437	61.5%
ゲームなどで遊びたいから	14	1.5%	10	1.4%
自分の専攻分野やその勉強に役立つと思うから	175	18.8%	117	16.5%
みんながやってるから	9	1.0%	3	0.4%
時代に乗り遅れるから	78	8.4%	59	8.3%
なんとなく	51	5.5%	36	5.1%
電子メールがやりたい	36	3.9%	25	3.5%
ホームページを見たい	32	3.4%	15	2.1%
ホームページを作りたい	33	3.5%	15	2.1%

SQ2、情報関係の授業では、どの程度のレベルまで学びたいと思いますか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
キーボードを打てる程度	28	3.0%	18	2.5%
年賀状や文書を日本語ワープロで作成できる程度	61	6.5%	54	7.6%
市販ソフトウェアを使って統計処理などができる程度	220	23.6%	185	26.0%
簡単なプログラムが作成できる程度	246	26.4%	203	28.6%
就職先でコンピュータを担当できる程度	379	40.7%	257	36.1%

Q11、それでは、授業に関係なく、自由にパソコンが使用できるとすれば、あなたは使ってみたいと思いますか。

回答	2001年度		2002年度	
	計	%	計	%
関心がないので使うつもりはない	51	5.0%	44	5.7%
使いたい――>SQを回答	933	91.0%	725	94.3%
不明	41	4.0%	0	0.0%

SQ、使用するとすれば、次のうちどんなことに使ってみたいと思っていますか。

2001年度

回答	第1	第2	第3	合計
レポート書き	607	57	95	759
クラブやサークルの経理など	13	102	5	120
情報関係の復習や予習	30	99	135	264
情報処理関係の資格試験の勉強	82	141	65	288
プログラムの学習	37	87	46	170
ソフトウェアの開発	10	21	18	49
電子メール	92	286	107	485
ホームページを見る	122	183	328	633
ホームページを作る	17	20	69	106
ゲーム	11	28	118	157
その他	4	1	39	44

2002年度

回答	第1	第2	第3	合計
レポート書き	429	71	55	555
クラブやサークルの経理など	5	13	12	30
情報関係の復習や予習	11	69	38	118
情報処理関係の資格試験の勉強	71	138	69	278
プログラムの学習	31	61	54	146
ソフトウェアの開発	5	16	16	37
電子メール	66	179	76	321
ホームページを見る	93	130	228	451
ホームページを作る	7	18	49	74
ゲーム	6	29	92	127
その他	1	1	36	38

Q12、話は変わりますが、以下のような事項で、自分自身にあてはまることがありますか。

回答	2001年度			2002年度		
	はい	いいえ	不明	はい	いいえ	不明
こまかなことをするといらいらする	367	619	39	308	450	11
新しい機械を見るとさわりたいくなる	685	305	35	483	276	10
何にでも好奇心をもつ方だ	664	323	38	477	283	9
ひとつのことをやりだすと、こる方だ	702	287	36	535	225	9
どちらかといえば、のんびりやだ	690	298	37	517	242	10
どちらかといえば、目立ちたがりやだ	322	666	37	225	533	11
考えるよりも行動してしまう方だ	361	627	37	255	504	10
仲間と集団行動をとるのは苦手だ	296	689	40	233	526	10
仲間とわいわい騒ぐのが好きだ	788	198	39	585	175	9

情報処理センター活動報告

2) 豊橋情報処理センター

パソコン・ワープロに関するアンケート集計結果(2002年度)

集計

情報処理センター事務課分室

多賀 友洋

学生相談員 文学部 4年

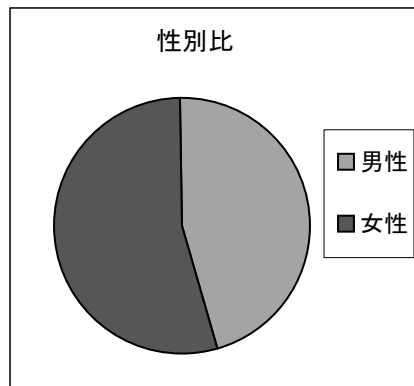
越前 宏美

[調査対象学生の構成]

有効解答者数
1,143

男性	女性
516	627

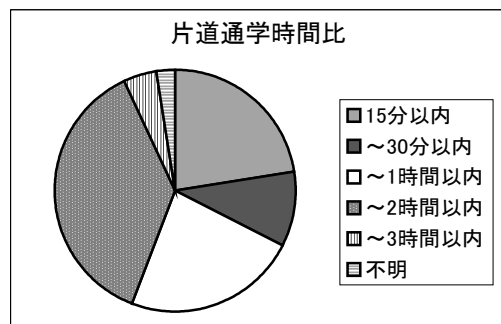
年齢	人数	比率
18	924	80.8%
19	171	15.0%
20	19	1.7%
21	6	0.5%
22	3	0.3%
23	2	0.2%
24	3	0.3%
25	5	0.4%
その他	10	0.9%



[アンケート集計結果]

Q1. 大学までの片道時間(徒歩や電車などすべてを合計した時間)は、およそどのくらいですか。

回答	計	比率
15分以内	258	22.6%
～30分以内	114	10.0%
～1時間以内	265	23.2%
～2時間以内	426	37.3%
～3時間以内	52	4.5%
不明	28	2.4%



Q2. あなたは、高校時代にどのような学科に所属していましたか。

回答	計	比率
普通科	1,027	89.9%
工業系の学科	11	1.0%
商業系の学科	39	3.4%
その他	66	5.8%

Q3. あなたの実家に、パソコン(ファミコンのようなゲームは除く)がありますか。

回答	計	比率
ない	183	16.0%
ある>SQ1を回答	928	81.2%
不明	32	2.8%

SQ1. それは、主にどなたが使っていましたか。

回答	計	比率
あなた以外の家族(親や兄弟)	305	32.5%
家族が共同で使っていた	453	48.2%
あなた自身	181	19.3%

Q4. それでは、あなたの実家にはワープロ専用機がありますか。

回答	計	比率
ない	529	46.3%
ある>SQ1を回答	484	42.3%
不明	130	11.4%

SQ1. それは、主にどなたが使っていましたか。

回答	計	比率
あなた以外の家族(親や兄弟)	318	62.6%
家族が共同で使っていた	135	26.6%
あなた自身	55	10.8%

Q5. あなたは、以下のような情報関係の言葉を知っていますか。

回答	マルチメディア	グループウェア	インターネット	WINDOWS-NT
聞いたこともない	27	853	5	568
聞いたことがある	834	224	87	406
知っている	217	27	670	99
よく知っている	29	3	339	28
不明	36	36	42	42

回答	MS-WINDOWS	フロッピーディスク	WWW	ネットワーク
聞いたこともない	464	13	234	19
聞いたことがある	487	129	391	511
知っている	126	632	364	462
よく知っている	30	334	118	108
不明	36	35	36	43

回答	DOS/V	電子メール	マウス
聞いたこともない	736	6	5
聞いたことがある	285	148	53
知っている	64	608	464
よく知っている	21	337	582
不明	37	44	39

Q6. ところで、コンピュータに関する本や雑誌を読んだことがありますか。

回答	計	比率
購入したことは一度もない	843	73.8%
何冊か購入した	252	22.0%
雑誌を定期的に購入している	7	0.6%
不明	41	3.6%

Q7. あなたは、高校時代にコンピュータやパソコンに関する授業を受けたことがありますか。

回答	計	比率
そのような授業を受けたことがない	704	61.6%
ある程度、理論的な話だけ聞いた	64	5.6%
機械を見学し説明を受ける程度の授業を受けた	58	5.1%
実際に操作するところまで授業でやった	279	24.4%
不明	38	3.3%

Q8. 愛知大学には、情報処理センターがあり、数十台のパソコンを設置してあります。あなたは、このことを知っていましたか。

回答	計	比率
知らなかった	330	28.9%
知っている	628	54.9%
入る前から知っていた	143	12.5%
不明	42	3.7%

Q9. それでは、あなたのパソコン経験度は次のうちどれにあてはまりますか。

回答	計	比率
全くわからない。パソコン機を直接見たこともない	10	0.9%
パソコン機やそれを操作しているところを見たことがあるが、自分で触れたことは一度もない	51	4.5%
店頭などで触れたことはあるが、全く操作したことはない	54	4.7%
操作したことがある＞SQ1、SQ2を回答	979	85.7%
不明	49	4.3%

SQ1. それでは、あなたのパソコン経験は次のうちどれにあてはまりますか。

回答	計	比率
他人におそわりながら、キーボードを打った	699	61.2%
ゲームをやった	820	71.7%
日本語ワープロとして、手紙や文書を書いた	671	58.7%
市販のソフトで実務的な作業(経理事務や統計処理など)を行った	102	8.9%
簡単なプログラムを書いた	112	9.8%
操作やプログラミングを他人に教えた	45	3.9%

SQ2. 主にどこのパソコンを利用したのですか。

回答	計	比率
友人のパソコン	41	3.6%
アルバイト先のパソコン	6	0.5%
職場のパソコン(有職者のみ)	6	0.5%
家族のパソコン	616	53.9%
自分のパソコン	157	13.7%
その他	175	15.3%

Q10. 大学での情報処理関係の授業に対して、あなたは、どのような態度をとろうと考えていますか。

回答	計	比率
あまり関心がないので、学習しようとは思っていない。	30	2.6%
できるだけ選択してみたい > SQ1、SQ2を回答	581	50.8%
積極的に学習しようと思っている > SQ1、SQ2を回答	457	40.0%
不明	75	6.6%

SQ1. それは、主にどんな理由からでしょうか。

回答	計	比率
就職に役立つと思うから	631	55.2%
ゲームなどで遊びたいから	6	0.5%
自分の専攻分野やその勉強に役立つと思うから	175	15.3%
みんながやっているから	9	0.8%
時代の乗り遅れるから	86	7.5%
なんとなく	41	3.6%
電子メールがやりたい	27	2.4%
ホームページをみたい	41	3.6%
ホームページを作りたい	32	2.8%

SQ2. 情報関係の授業では、どの程度のレベルまで学びたいと思いますか。

回答	計	比率
キーボードを打てる程度	29	2.5%
年賀状や文書を日本語ワープロで作成できる程度	76	6.6%
市販のソフトウェアを使って統計処理などができる程度	231	20.2%
簡単なプログラムが作成できる程度	299	26.2%
就職先でコンピュータを担当できる程度	401	35.1%

Q11. それでは、授業に関係なく、自由にパソコンが使用できるとすれば、あなたは使ってみたいと思いますか。

回答	計	比率
関心がないので使うつもりはない	38	3.3%
使いたい > SQ1を回答	1,029	90.0%
不明	76	6.6%

SQ1. 使用するとすれば、次のうちどんなことに使ってみたいと思っていますか。

回答	第1	第2	第3	合計
レポート書き	375	202	133	710
クラブやサークルの経理など	7	14	18	39
情報関係の復習や予習	33	67	63	163
情報処理関係の資格試験の勉強	87	122	76	285
プログラムの学習	23	85	76	184
ソフトウェアの開発	7	10	34	51
電子メール	116	243	128	487
インターネットのホームページを見る	327	189	195	711
インターネットのホームページを作る	46	48	64	158
ゲーム	17	51	109	177
その他	5	10	131	146

Q12. 話は変わりますが、以下のような事項で、自分自身にあてはまることがありますか。

回答	はい	いいえ	不明
こまかなことをするといらいらする	451	629	63
新しい機械を見るとさわりたいくなる	696	387	60
何にでも好奇心をもつ方だ	711	372	60
ひとつのことをやりだすと、こる方だ	757	324	62
どちらかといえば、のんびりやだ	780	302	61
どちらかといえば、目立ちがりやだ	353	727	63
考えるよりも行動してしまう方だ	424	658	61
仲間と集団行動をとるのは苦手だ	356	728	59
仲間とわいわい騒ぐのが好きだ	66	854	223

2002年度 教員向けIT講習会出席状況・アンケート結果

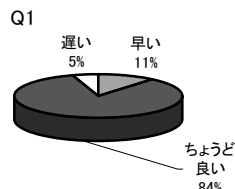
開講日 2002年7月13日～11月13日

開講講座

開講日	講座名	参加人数
7月13日	PowerPoint講習会	5
15日	「Myhomepage」の利用法	7
16日	「Myhomepage」の利用法	5
18日	PowerPoint講習会	8
19日	デジタルカメラの操作方法	6
9月18日	教材提示装置システムの基本操作	9
19日	教材提示装置システムの基本操作	8
10月9日	「Myhomepage」の利用法(実践編)	3
16日	PowerPoint操作説明(初級編)①	8
21日	PowerPoint操作説明(初級編)①	3
23日	PowerPoint操作説明(初級編)②	5
30日	PowerPoint操作説明(中級編)	5
11月13日	「Myhomepage」の利用法(実践編)	2
計		74

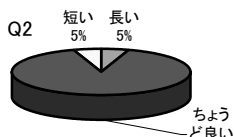
Q1.進行速度について

	早い	ちょうど良い	遅い
人数	5	38	2
割合	11%	84%	5%



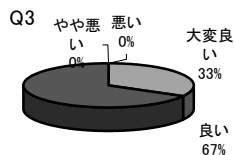
Q2.講義時間の長さについて

	長い	ちょうど良い	短い
人数	2	40	2
割合	5%	90%	5%



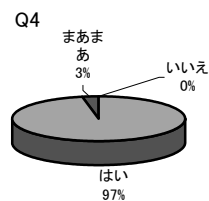
Q3.全体的にいかがでしたか？

	大変良い	良い	やや悪い	悪い
人数	15	30	0	0
割合	33%	67%	0%	0%



Q4.質問にはきちんと答えてくれましたか？

	はい	まあまあ	いいえ
人数	38	1	0
割合	97%	3%	0%



Q5.何か開催してほしい講習会等のご提案がございましたらお書きください

- ・Excelで学生の成績処理のやり方
- ・PDFファイルで研究論文をweb上で公開する方法
- ・MyHomePageの詳しい説明書を冊子として用意してほしい
- ・毎日の研究や講義に役立つ講習会
- ・Excelの基本的な操作方法
- ・Word,Excel,Email,webの操作方法
- ・デジタルカメラの操作方法を覚えたい
- ・初歩的なことから高度なことまで幅広く教えてほしい
- ・パソコンの全くの初歩からの講座を開いてほしい
- ・学生用の授業のような実習を企画してほしい
- ・古いPCの活用法
- ・映像の編集、保管法
- ・実際にHPを作る実習
- ・データベースの作成方法

Q6. 講習会についてご意見・ご感想をお願いします

- ・関心のある講座には是非参加したい
- ・さっそくHPを作ってみたいと思う
- ・今回のような教員向け講習会は有益であり今後も続けてほしい
- ・実際にHPを作成したかった
- ・総論終了後、是非各論を(トレーニングという形で)お願いしたい
- ・大変参考になった
- ・実技中心の講義スタイルで
- ・何ができるか、ウイルス関連などの概略が分かった
- ・定期的に講習会を開いてほしい
- ・実際に授業でPowerPointを使い始めた
- ・デジタルカメラを実際に使用してみたので、興味深かった
- ・PowerPointが有効な授業内容とそうでない授業内容があるようだが、ホームページ上で宿題や次回授業予習箇所などを開示するには有効のように思った

4. 情報処理センター委員会構成員

情報処理センター委員会

役職名		所属	身分	氏名
所長		法学部	教授	坂東 昌子
副所長		短期大学部	助教授	龍 昌治
委 員	名古屋センター	法学部	助教授	太田 明
		経営学部	助教授	河田 賢二
		現代中国学部	助教授	土橋 喜
	豊橋センター	経済学部	教授	蔣 湧
		文学部	助教授	中尾 浩
		国際コミュニケーション学部	助教授	トーマス・M・グロース
		短期大学部	助教授	武藤 明弘

情報処理センター事務課

名古屋情報処理センター	課長	樋口 裕嗣
	システム エンジニア	水谷 伸司
		石原 有希子
豊橋情報処理センター	係長	中村 直美
	システム エンジニア	金子 善一郎
		多賀 友洋

5. 編集後記

ちょうどこの編集後記の執筆を依頼された折り、修正された「個人情報保護法案」が国会で成立した。

法案そのものは以前から提出されていたものだが、多方面から批判を浴びていた。旧法案は、法案の包括性、規制対象の広汎性、規制主体と罰則規定のあり方など法案の発送そのものに重大な問題が含まれているというのである。利用目的などを本人に通知することにより、「取り扱い事業者の権利または正当な利益を害するおそれがある場合」には、個人情報本人の関与を断ってもよいという規定もある。差別を招きやすい情報収集の禁止も、国際的移転の禁止も規定されていないし、そもそも個人情報はその人自身が自己管理できる権利すら盛り込まれていない。こうした点から、メディア規制のための法案ではないか、あるいは本質的な意味で個人情報を保護する法案ではないのではないかとの批判を浴びることになったのである。

今回の法案成立は、旧法案の「基本原則」削除などの修正と個別的保護法の制定に関する付帯決議をつけた上のことではあるが、根本的な発想に大きな変化は認められないと言われる。

根本的な発想とは、個人情報はこれからの社会の資源である、あるいは産業の「米」であり、むしろルールを守ればどんどん使ってもとよいという発想である。社会の資源としての情報にはわれわれの個人情報ないし個人データも含まれる。これはわれわれのプライバシーがデータ化された形態であるから、われわれ自身がその質に関与し、その流通のあり方をコントロールする権利を持つのは当然である。これが今回の法案の背後にある根本的な問題であろう。

しかし、「社会の資源としての情報」という発想はこの法案だけに限られるものではない。むしろわれわれが直面する高度情報社会ないし IT 社会の重要な側面であることを見逃してはならない。IT 社会が実は情報の蓄積・流通・使用によって作動する社会だからである。情報は利用価値を持つ。そのためにわれわれは情報を蓄積し、流通させるのである。したがって、社会の IT 化が進展すればするほど情報保護の必要性は高まる。利用価値としての情報の「質」を確保するためである。

ところで、本学においても事務システムや教学システムの IT 化が計画されている。すでに学生の証明書の自動発行というかたちで学籍情報は簡単に手に入るようになった。そう遠くないうちに、情報のウェブ上での情報とデータベースでの蓄積に進んでゆくだろう。すると大学においても「個人情報保護規程」は必須のものになる。

とはいえ、個人情報保護規程はつくればそれで情報保護されるというわけにはいかない。というのは、IT 化された社会においては、保護のあり方はコンピュータやネットワークの運用能力と無関係ではないからである。むしろ、無知な者は何もできないというイヤミな領域、「知は力なり」が最も鮮明に現れる領域である。逆に言えば、高度な能力のある者ほど、高度な運用上の倫理性と責任が要求されるのである。

そのためには普段の啓蒙活動が必要となろう。情報処理センターも、全面的に担うわけではないにしても、その重要な一翼を担うことになるのではあるまいか。

(OA)

愛知大学情報処理センター紀要COM 原稿募集要項

情報処理センター紀要「COM」は、年2回発行され、下記の要領で原稿を募集しています。詳細につきましては情報処理センターまでお問い合わせください。

1. 著者の資格

- (1) 本学教職員および本学教職員との共著者
- (2) 本学非常勤教員
- (3) 本学学生（教員の推薦があるものに限る）
- (4) 編集委員会が認めたもの

2. 投稿原稿の内容

投稿原稿は未発表のもので、下記に関係する内容とする。

- (1) 情報教育に関する理論と実践
- (2) 情報科学や情報工学に関する理論とその応用
- (3) 情報システムに関する調査、分析、理論
- (4) コンピュータを活用した研究、教育、および業務等の実践報告
- (5) 本学のコンピュータ利用に関して必要と思われる情報処理センターの報告
- (6) その他（編集委員会が認めたもの）

3. 投稿原稿の種類

投稿された論文は編集委員会によって、下記のように区分して掲載する。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) 解説
- (4) COM コーナー
- (5) その他（編集委員会が認めたもの）

※なお解説については、新たな研究動向や新技術の解説とその意義や影響などとする

4. 投稿原稿の体裁

- (1) 和文・英文を問わないが和文が望ましい。
- (2) 原稿用紙は B5 サイズとし、1 ページに 45 字×35 行程度（1575 字程度）で印字し、文字サイズは 10 ポイントとする。
- (3) 原稿の冒頭にはタイトル（サブタイトルも含む）、所属、著者名を表記する。
- (4) 裏表紙（目次用）として、タイトル、著者名の英文を添えること。
- (5) 完成された投稿原稿のみを受理する。
- (6) 複製印刷が可能ないように原稿を仕上げる。こと。（手書きの原稿は認めない）
- (7) 美しく仕上げるために、フロッピーを添えるのが望ましい。
- (8) 提出するフロッピーには、ファイルを作成したソフト名および投稿原稿のファイル名を明記すること。使用ソフトは Microsoft Wordまたは PDF 形式が望ましい。
（使用ソフトによっては、図表の部分が複製印刷となる場合もある）

- (9) フロッピーによるファイルが提出できない場合は、ハードコピーのみとし、複製印刷とする。
- (10) 著者は連絡先（ゲラ等の送付先）の住所、電話番号等を明記すること。

5. 校正

- (1) 校正は著者校正を2回とする
（フロッピーのまま校正を行わない場合は、その旨事前に連絡する）
- (2) 校正段階での内容の変更は、総ページ数に変更しない範囲で行なうこと。
- (3) 別刷りは論文ごとに各30部までは無料とする。
- (4) 著者には紀要を2部進呈する。ただし希望があれば10部を限度として進呈する。

6. 著作権

- (1) 提出された論文の著作権は、原則として愛知大学情報処理センターに属し、無断で複製あるいは転載することを禁じる。
- (2) 論文作成に際して用いたコンピュータソフトや映像ソフト等の著作権に関する問題は、著者の責任において処理済みであること。他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題を生じないように十分に配慮すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合、著者がその責を負う。
- (4) 著作人格権は著者に属する。

以上

申し込み・問い合わせ： 愛知大学情報処理センター

TEL : 0561-36-1117(内線 2531)

FAX : 0561-36-2781

愛知大学情報処理センター紀要
「COM」 Vol. 13 No.2 第23号

2003年3月31日 印刷

2003年3月31日 発行

編集 愛知大学情報処理センター

センター紀要「COM」編集委員会

発行 愛知大学情報処理センター

愛知県西加茂郡三好町黒笹370

〒470-0296 TEL <0561> 36-1117 (直通)

FAX <0561> 36-2781

(分室) 豊橋市町畑町1-1

〒441-8522 TEL <0532> 47-4124 (直通)

FAX <0532> 47-4125

印刷 株式会社 荒川印刷

情報処理センター教育用パソコン 機種および設置台数

○名古屋校舎

(台)

設置場所		機種	台数
情報処理センター	第1実習室	HITACHI FLORA 330	60
	第2実習室	HITACHI FLORA 310	45
	第3実習室	HITACHI FLORA 330	20
	オープンフロア	HITACHI FLORA 330	18
中央教室棟	マルチメディア教室	HITACHI FLORA 310	60
東教室棟	E201教室	HITACHI FLORA 330	60
	E202教室	HITACHI FLORA 330	40
大学院			7
研究所			13
名古屋 計			323

○車道校舎

設置場所		機種	台数
1号館	実習室	HITACHI FLORA 330	48
研究所			2
車道 計			50

○豊橋校舎

設置場所		機種	台数
情報処理センター (4号館)	420教室	HITACHI FLORA 310他	80
	421教室	HITACHI FLORA 330	52
	423教室	HITACHI FLORA 330	58
	424教室	HITACHI FLORA 270	50
	413教室	HITACHI FLORA 330	25
5号館(国際ｺﾐ)	523教室	HITACHI FLORA 350	50
大学院			12
研究所			9
豊橋 計			336

総合計 台数	709
--------	-----

マルチメディアコーナー・メディアコーナー

○名古屋校舎

(台)

設置場所		機種	台数
図書館棟2F	マルチメディアコーナー	EPSON TYPE-SZ他	70
計			70

○豊橋校舎

設置場所		機種	台数
図書館棟1F	メディアコーナー	Windows機	30
計			30